

市響25周年  
記念シリーズ

ICHIKYO  
市響

1977. 11. 23

P.M. 2:00

市川市民会館ホール

主催 市川市教育委員会  
千葉県音楽振興協議会  
千葉交響楽団協会  
市川交響楽団協会  
後援 京成電鉄株式会社

ファミリーコンサート

PROGRAM

No.116

演奏市川交響楽団

ピアノ相良文子

相良百合子

ナレーター高橋 圓

指揮金子建志

歌劇「魔弾の射手」序曲

ウエーバー

楽器紹介のための「日本のうた」

牧野一男編

前奏

箱根八里

弦楽器のお話

月の砂漠、どんぐりころころ

木管楽器のお話

かえるの笛、キュッキュッキュ

金管楽器のお話

大山の太将、見てござる

打楽器

リズム演奏

おしまい

里の秋

休

憩

組曲「動物の謝肉祭」

サンサーンス

1. 序奏と獅子王の行進
2. めんどりとおんどり
3. ろば
4. かめ
5. 象
6. カンガール
7. 水族館
8. 耳の長い登場人物
9. 森の奥に住むかっこう
10. 小鳥
11. ピアニスト
12. 化石
13. 白鳥 *新おん Solo*
14. 終曲

序曲「1812年」

チャイコフスキー

全員合唱「歌声ひびく」

シュルツ



# 曲 目 解 説

## 歌劇「魔弾の射手」序曲

ウエーバー

この歌劇は、昔、ドイツに森の悪魔ザミールによって指導されて造った7箇の弾丸を使う射手を「魔弾の射手」と言っ6発は命中するが最後の1発は悪魔の自由になり、3年以内に射手の後継者を見出さない限り、魂も悪魔にうばわれてしまうと言う伝説をもとに、ウエーバー(1786~1826)が若い恋人同志の物語にえがいた歌劇で、ドイツ国民歌劇の代表的最初の作品であります。今日の曲は、その歌劇の最初に演奏せられる序曲で、序奏部のホルン四重奏は合唱にまで歌われている程の親しみ深い傑作です。

## 楽器紹介のための「日本のうた」

牧野一男編

この曲はオーケストラの楽器とその簡単な使用方法を紹介する為に作られたものです。前奏にひきつづいて名楽器群(弦、木管、金管、打楽器)毎に、最初は独奏で、つぎに合奏で演奏する事により紹介されます。原曲はみなさんいづれもおなじみの日本の曲です。

1. 箱根八里 滝廉太郎作曲
2. 弦楽器のお話  
独奏及び楽パート合奏 月の砂漠 佐々木すぐる  
ピッチカート奏法 どんぐりころころ
3. 木管楽器のお話  
独奏及び各パート重奏 かえるの笛 海沼 実  
木管全員合奏 きゅっきゅっきゅっ 芥川也寸志
4. 金管楽器のお話  
独奏及び各パート重奏 お山の太将 山田 耕符  
金管全員合奏 見てござる 海沼 実
5. 打楽器
6. おしまい(全員合奏) 里の秋 海沼 実

## 組曲「動物の謝肉祭」

サンサーンス

サン・サーンスは今で言うところバークスタイン風の才人で、ピアニストであり指揮者でもあり、もちろん作曲もするというわけです。この曲は彼が5才の時にたまたま謝肉祭の時に滞在していたクルディムの町で、そこに住む友人のチェリスト、シャルル・ルブークの主催する音楽会の為に作曲されました。この曲が金管を全く含まない小編成なこと、又、ピアノ2台を使うこと(一台は作曲者が弾いた。)そして、チェロの為に極めて美しい独奏曲を含むこと、等はそうした事情によります。

この時期のサン・サーンスはワーグナー派の評論家から非難を受けて失意の時期にあったため、色々な動物にあてつけて、そうした批評家や、俗っぽい音楽界を皮肉ったわけです。

### 第1曲 序奏と獅子王の行進

ピアノと弦による堂々とした曲ですが、弦の旋律はほとんどユニゾンで、尊大だが中味は空っぽという作者の皮肉でしょうか。

### 第2曲 めんどりとおんどり

そのものずばりの描写音楽です。

### 第3曲 ろば

2台のピアノだけによる小品。このろばというのは鈍重な動きの遅いろばではなく、作曲者によって「急がしく飛んではねる動物達」と注釈されています。

### 第4曲 かめ

弦のユニゾンが「天国の地獄」の極めて速いパッセージを極めて遅く奏します。

### 第5曲 ぞう

ピアノとコントラバスによるユーモラスな音楽で途中にベルリオーズの妖精の踊りが現れます。ボストン・ポップスでこれを演奏した時にピアニストが調教師よろしくビーナツを投げたのが世界的に広まったと言われていますが?

### 第6曲 カンガルー

2台のピアノだけによる描写音楽。

### 第7曲 水族館

白鳥と並ぶ大変叙情的な美しい曲ですが、何となく観賞用に飼われている魚達という様な悲しさが感じられます。



#### 第8曲 耳の長い登場人物

これはいかにも動きの鈍いろばを親方が鞭で追っている様な曲で、ヴァイオリン2部のかけ合いで描かれています。

#### 第9曲 森の奥に住むかっこう

前の曲と対称的に静かな森(ピアノ)とかっこう(クラリネット)を描写しています。

#### 第10曲 小鳥

と言ってもヒッチコックに出て来る様な恐いのではなく、小鳥達の飛び交う様子を描いています。(ワーグナーのジークフリートの森の囁きのパロディーでしょうか?)

#### 第11曲 ピアニスト

サン・サーンスが100年後に某国に起る殺人事件を予言した作品。(音楽教育が技術教育に変貌して行く過程において次々と産み出されてくるこの可愛い動物達はその隣人も狂気の動物へと変えてしまうという恐るべき予言であります。)

#### 第12曲 化石

これも大変パロディ的な曲で、サン・サーンス自身の<死の舞踏>の中のがい骨のおどりのテーマ(シロホン)を中心にフランスの有名な民謡やキラキラ星等の名曲が皮肉っぽく現れます。(音楽はあまり演奏され過ぎても化石みたいになってしまうという警告でしょうか?)

#### 第13曲 白鳥

チェロの独奏曲として余にも有名な曲で、2台のピアノで伴奏されます。主催者のチェリストに敬意を表して作曲された曲でしょう。

#### 第14曲 終曲

当時大ヒットしていた「天国と地獄」のフィナーレを土台に、今までの動物がほとんど登場して華やかなフィナーレとなります。

### 序曲「1812年」

### チャイコフスキー

この曲は大作作曲家によくある注文によって作られた作品の一つです。1880年5月の楽譜出版社の依頼は次のとおりです。「ルービンシュテインが産業博覧会音楽部長に任命されました。彼は貴方を取りたてたいと思ひ次の様な作品を依頼しております。

1)博覧会開会の為の序曲、または2)ロシア国王25年のための序曲、または3)様式と形式は適当で良いが、必ずギリシャ正教の宗教音楽の感じを持つ、救世主寺院開墓の為のカンタータです。もちろん相当のお金になります。」

まあ平たく言えば、今の万博やオリンピック等の祝典音楽と同じで、効果さえ上がれば内容の深さはあまり必要とされない音楽ですから、チャイコフスキーは最初全く気乗りがしなかったのですが、後にルービンシュテインから直接依頼されるに及んでついに筆を取るようになりました。そして結果的には、3つの条件を大変見事に満たす交響詩的な序曲が出来上がりました。

曲は先ず注文どおりギリシャ正教風のコーラルによる序奏で始まり、それが高まると、小太鼓によって軍楽調の音楽(ロシア軍を表す)に変わります。時正に風雲急を告げるという感じでアレグロに入るとナポレオン軍を表すラ・マルセーズのテーマがトランペットに現れ戦争の描写音楽となります。そして最後は変ホ長調の長大な下降音形を経て、再び冒頭のギリシャ正教のコーラルの勝利となり、ロシアの当時の国歌が力強く奏されて終ります。

題名の通りナポレオンの侵略は1812年ですからこの曲が作られたのはずっとあとになるにもかかわらず、不思議に同時代的な感じを聴く者に与えるのはさすがチャイコフスキーの腕のたまものでしょう。

この曲を演奏する上で大変なのは一つは最後の大勝利のシーンでの鐘の音や、ギリシャ正教のコーラルにかぶさる別部隊のブラスバンド等ですがこれは今日の会場のせいもありましてあまり大がかりにはなりそうもありませんので御了承下さい。(スコアどうりだと大砲まで動員することになっているのですが、当市民会館でやるとどうなるか?.....最近アメリカでこれをやった為会場に驚報が鳴り、やってきた消防車が放水してしまいオーケストラも指揮者も水びたしになったという実話があります。)もう一つはこの曲の調性なのですが、アレグロは何とフラットが6つの変ホ短調なのです。それがあつという間にシャープ6つの嬰へ長調に変わるという極めて演奏しづらい曲なのです。それでこの曲の演奏が終わってから舞台の掃除をすると弾きこぼれたシャープやフラットがチリ取り一杯たまるという話です。







団 員 ◎印はパートチーフ

- |   |  |  |  |
|---|--|--|--|
| <p>&lt;第1ヴァイオリン&gt;<br/>石井久雄<br/>小川和美<br/>小金和哉<br/>島貫俊秀<br/>永田匡<br/>◎二福宮伸雄<br/>星井康祐<br/>前千鶴子<br/>原共子<br/>◎松山和子<br/>三原明人<br/>吉岡一郎<br/>&lt;第2ヴァイオリン&gt;<br/>上敷領清香<br/>木佐貫秀弥<br/>◎熊谷信昭<br/>島田梨里<br/>多田芳枝<br/>中仁森浩<br/>深礼郁夫<br/>◎福原祥子<br/>村田美千子<br/>村上葉子<br/>水野紅魚<br/>吉川多津子<br/>&lt;ヴィオラ&gt;<br/>朝田 享</p> | <p>小野志和子<br/>大豆生田 稔<br/>齐藤十一郎<br/>沢田健夫<br/>篠田壮夫<br/>鶴島章子<br/>藤枝通子<br/>星乘昭雄<br/>◎横田行雄<br/>&lt;チェロ&gt;<br/>井出佐久夫<br/>植草寛之助<br/>小川博嗣<br/>◎田中頭扶健<br/>野呂文俊<br/>福原耕二<br/>古川康一<br/>山口勝規<br/>横田朝之<br/>&lt;コントラバス&gt;<br/>菊池克彦<br/>鈴木孝治<br/>鈴木達郎<br/>高柳亘宏<br/>飛田正男<br/>◎牧野一男<br/>村上信乃<br/>丸洋秋</p> | <p>&lt;フルート&gt;<br/>岡本恂三<br/>木村純一<br/>柴田重信<br/>曾我眞論<br/>◎竹中靖<br/>&lt;オーボエ&gt;<br/>高山孝夫<br/>◎秦俊郎<br/>坂逸<br/>&lt;クラリネット&gt;<br/>◎池田八十二<br/>伊藤順夫<br/>谷村匡一<br/>時田雄豊<br/>永藤嗣人<br/>半藤嗣人<br/>&lt;ファゴット&gt;<br/>金坂哲一<br/>森本純一<br/>◎米原光夫<br/>&lt;ホルン&gt;<br/>天野晶吉<br/>小川邦雄<br/>小川芳雄<br/>小塚康史<br/>◎越林秀之<br/>小志恒夫<br/>高橋美枝子</p> | <p>高橋隆一<br/>野崎勝陽<br/>福田<br/>&lt;トランペット&gt;<br/>相葉廷市<br/>◎桑村益夫<br/>佐藤忠己<br/>杉山雅一<br/>竹本昭<br/>山本俊<br/>吉松<br/>&lt;トロンボーン&gt;<br/>太田一之<br/>◎小池達美<br/>柴田孝一<br/>津田泰二<br/>雄二郎<br/>&lt;チューバ&gt;<br/>高橋純一<br/>&lt;打楽器&gt;<br/>岩橋正治<br/>小坂克志<br/>◎内藤弘<br/>&lt;ハープ&gt;<br/>早川利恵子<br/>&lt;ピアノ&gt;<br/>横田光代</p> |
|---|--|--|--|

# 生徒募集

(いつからでも、どなたでも気軽に入会出来ます)

## 熊谷音楽教室

指導科目 バイオリン、ビオラ、チェロ、コントラバス

希望により管楽器、ピアノ、声楽等の指導も致します。

教室 曾谷教室 (火) 市川市曾谷4-1-23 TEL 0473(72)2366

東国分教室 (火・土) 市川市東国分2-1-41 TEL 0473(72)2366

市川駅南口教室 (木) 市川市市川南1-10-18 TEL 0473(24)3685

◎ 技術優秀な方は、市警、市吹、市警ジュニアオーケストラに入団出来ます。

併設 ヤマハ音楽教室 後援 (株)伊藤楽器

指導科目 ピアノ、エレクトーン、エレクトーン幼児科

教室 東国分教室 (月・水) 市川市東国分2-1-41 TEL 0473(72)2366

市川駅南口教室 (月・火・土) 市川市市川南1-10-18 TEL 0473(24)3685

注：ヤマハ音楽教室のお問合せは、教室直接又は(株)伊藤楽器音教係 0474(31)0111

園芸専門店、園芸相談、教育資料

# 白柳園芸

市川市国分2-2-20

(京成バス 国分角下車)

TEL 0473-71-7378